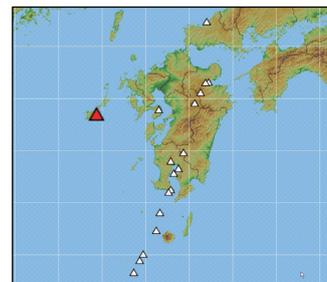


## 86. 福江火山群 Fukue Volcanoes

北緯 32° 39′ 24″ 東経 128° 50′ 56″ 標高 315m (鬼岳)  
(標高点・独自に計測)  
北緯 32° 39′ 37″ 東経 128° 51′ 55″ 標高 315m (火ノ岳) (三角点・火岳)



鬼岳遠景 2004年9月17日気象庁撮影



鬼岳火口 2003年8月28日気象庁撮影

### 概要

福江島は長崎県五島列島にあり、北西部の岐宿(きしく)火山、三井楽(みいらく)火山、南東部の福江火山、富江火山から構成される。福江島では、まず岐宿火山で94~68万年前にアルカリ玄武岩の活動が始まり、その後、約30万年前に三井楽火山、福江火山群でもアルカリ玄武岩が活動した(永尾・他, 2002)。最も新しい噴火は、火の岳溶岩の流出である(寺井, 1989)。なお、福江火山群の新期の活動は約9万年前から始まった(永尾・他, 2002)。新期活動は以下のステージに区分されている。Ⅰ)流動性の高いパホイホイ溶岩を噴出した、Ⅱ)溶岩を大規模に流出し、比高30mの溶岩台地を形成した、Ⅲ)小規模な溶岩流を多数噴出した、Ⅳ)噴石丘の形成とともに溶岩湖ができた、Ⅴ)火口壁を越えて小規模な溶岩流が溢出した。なお、富江火山も新期の福江火山群と同時期に活動した可能性がある(寺井, 1989)。玄武岩のSiO<sub>2</sub>量は47.2~52.0 wt.%である。

地形図



図 86-1 福江火山群の地形図.

国土地理院発行の5万分の1地形図(富江、福江)及び数値地図50mメッシュ(標高)

(86. 福江火山群)

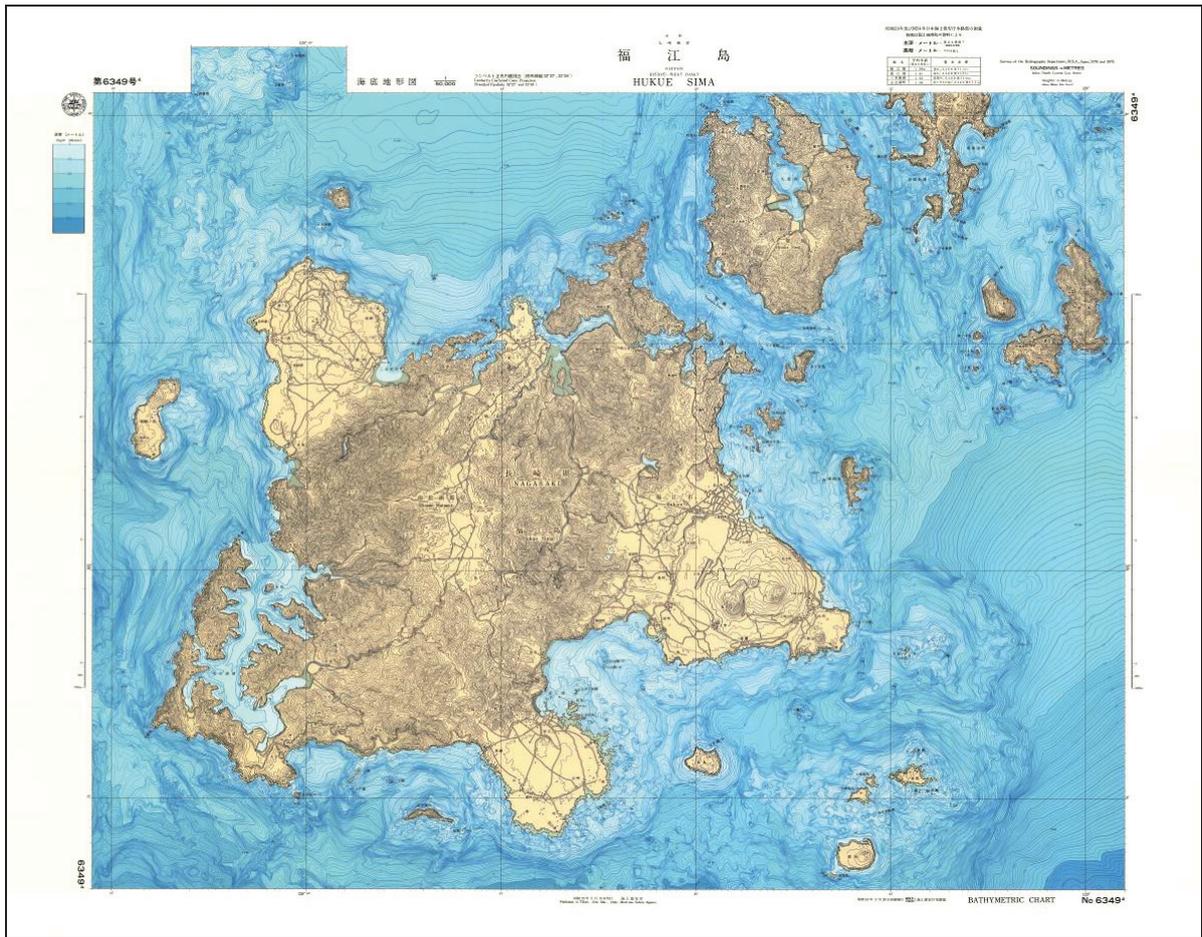


図 86-2 福江火山群の海底地形図 (海上保安庁, 1980).

## 噴火活動史

### ・過去 1 万年間の噴火活動

過去 1 万年間の詳細な活動は不明であるが、縄文晩期の遺跡が降下スコリア層の下から出土したことから、最新の活動は 2,000~3,000 年前と考えられる(寺井, 1989)。

長岡・古山(2004)により、鬼岳の最新の噴出物である鬼岳降下スコリア層直下の土壌の年代測定が行われ、約 1 万 8 千年前であることが明らかにされた。一方、これらを覆う黒土層中に降下スコリアが挟在され、その噴出年代は約 2,300-2,400 年前と報告した。給源火口については不詳であるが、福江火山群の内部であろうと推定している(長岡・古山, 2004)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
2.4ka <sup>1</sup>	黒島、黄島、赤島などの福江火山南部の火山が給源である可能性がある <sup>1</sup>	マグマ噴火 <sup>1</sup>	火砕物降下

※年代、噴火場所、噴火様式、噴火イベント等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考に、文献の追記を行った。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000 年前」を意味し、西暦 2000 年を 0 ka として示した。

#### 【引用文献】

1. 長岡信治・古山勝彦 (2004) 五島列島福江島、鬼岳火山群の噴火史. 地学雑誌, **113**, 349-382.

### ・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない。

### 近年の火山活動

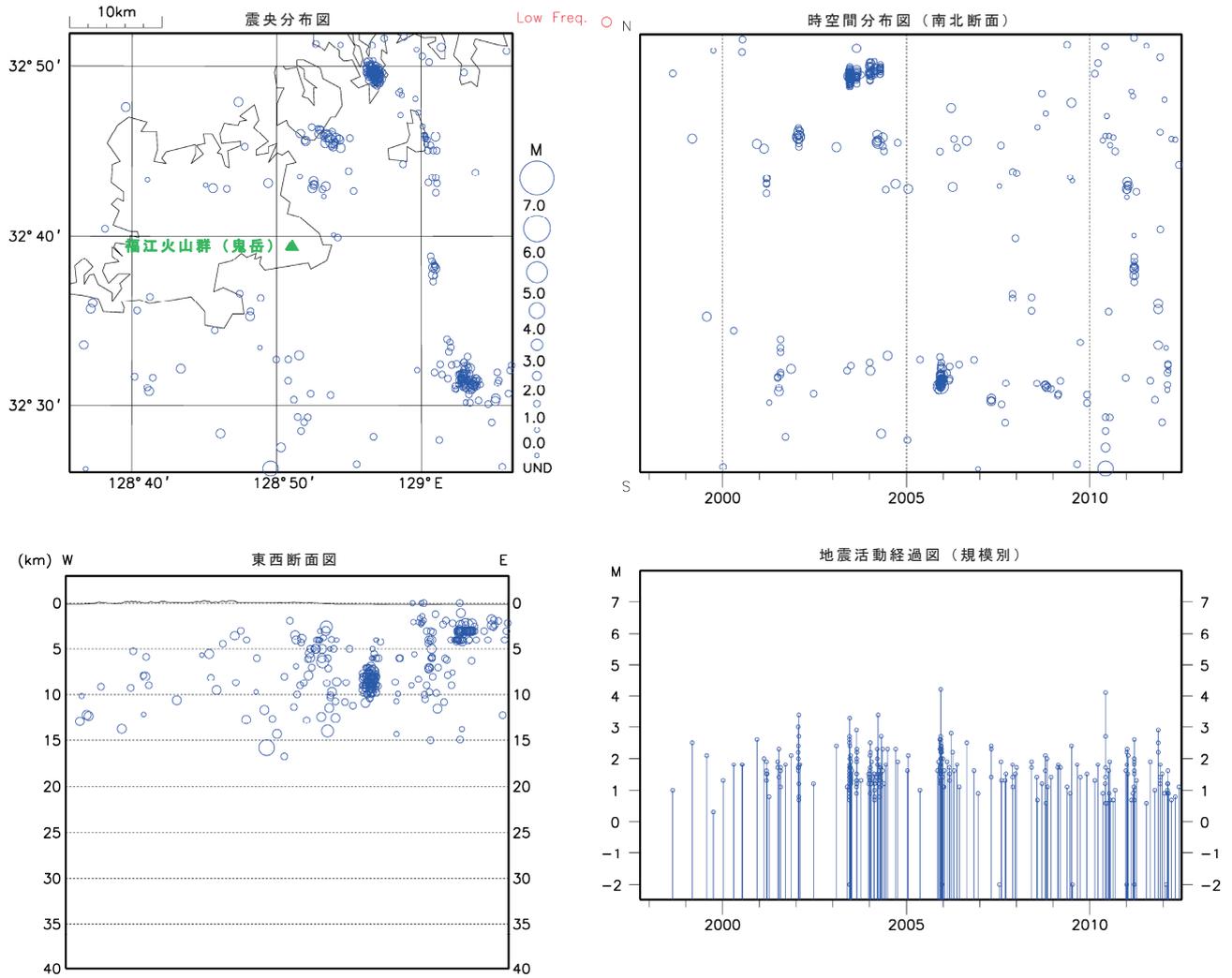


図 86-3 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤) (1997年10月1日～2012年6月30日).

### 防災に関する情報

- ①火山防災協議会  
なし
- ②避難実績及び入山規制等の実績  
いずれもなし

**社会条件等**

## ①人口

- ・五島市 41,679 人（平成 23 年 10 月末現在）

## ②国立・国定公園・登山者数等

- ・西海国立公園 1955 年（昭和 30 年）3 月 16 日指定
- ・年間登山者数：不明

## ③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
五島市役所	長崎県五島市福江町 1-1	0959-72-6111
五島市富江支所	長崎県五島市富江町富江 165	0959-86-1111
五島市三井楽支所	長崎県五島市三井楽町濱ノ畔 1473-1	0959-84-3111
五島市岐宿支所	長崎県五島市岐宿町岐宿 2535	0959-82-1111
五島市玉之浦支所	長崎県五島市玉之浦町玉之浦 763	0959-87-2211
五島市奈留支所	長崎県五島市奈留町浦 1818-1	0959-64-3111

## ④主要交通網

- ・道路：国道 384 号線
- ・船舶：九州商船（ジェットfoil ペがさす 264 名、万葉 482 名福江港－長崎港）、野母商船（フェリー太古 350 名福江港－博多港）
- ・航空：ANA（五島福江空港－福岡空港）、ORC・ANA 共同運航（五島福江空港－福岡空港、五島福江空港－長崎空港）

## ⑤関連施設

なし

**関係する主な気象官署**

機関・部署名	所在地	電話番号
福岡火山監視・情報センター	(福岡管区气象台)福岡県福岡市中央区大濠 1-2-36	092-725-3601
長崎海洋气象台	長崎県長崎市南山手町 11-51	095-811-4863

## 気象庁および大学等関係機関の観測網

広域 ※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の20万分の1地勢図(福江、長崎、富江、野母崎)

凡 例				
(気象庁)	(国土地理院)	(防災科学技術研究所)	(九州大学)	(自治体)
● 震度計	★ GPS	● F-net	● 地震計(短周期)	⊙ 震度計
● 地震計(短周期) (地震津波観測)		● K-NET		

## 引用文献

- 海上保安庁 (1980) 福江島 日本・九州西岸. 沿岸の海の基本図(5万分の1), 6349<sup>4</sup>, 海上保安庁.
- 永尾隆志・他 (2002) 長崎県, 福江火山群の K-Ar 年代. 日本地質学会第 109 年学術大会講演要旨, 296.
- 長岡信治・古山勝彦 (2004) 五島列島福江島, 鬼岳火山群の噴火史. 地学雑誌, **113**, 349-382.
- 寺井邦久 (1989) 五島列島福江島・鬼岳周辺の火山について. 日本火山学会 1989 年秋期大会講演予稿集, 53.